

平成 22 年 3 月 11 日

山形大学 - 三菱化学 5 年間の包括的共同研究の成果及び今後の進展について
～ 自動車分野等向け新規ポリマー材料の開発～

国立大学法人 山形大学
三菱化学株式会社

国立大学法人山形大学(本部:山形県山形市、学長:結城 章夫 以下「山形大学」)と三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光 以下「三菱化学」)は、自動車分野等向け新規ポリマー材料に係る複合化(コンパウンド)技術や成形加工技術等につき平成 17 年度から 5 年間共同研究を行ってまいりましたが、この度共同研究が終了いたしました。

今回の共同研究では、特に機能性高分子材料の開発では世界をリードしております山形大学の技術力と『自動車用ケミカルコンポーネント』を 7 大育成事業として位置づけ強化を図っている三菱化学の開発力やマーケティング力を掛け合わせ、高機能・高性能ポリマー材料の開発や基盤技術の高度化等について進めてまいりました。

今回の共同研究の結果としては、

- ・ポリマーへの塗装に関する新材料開発の可能性
- ・放熱、断熱等に有効な新材料(熱マネジメント部材)開発の可能性
- ・自動車用軽量化や熱マネジメントに必要な基盤技術のレベルアップ

等、近年国際的に大きな課題となっている CO₂ 排出削減に寄与できる自動車の軽量化部材開発等に大きな成果がありました。

今後につきましては、一部既に開発の目処がたったものにつき実用化に向け進めていくとともに、ハイブリッド自動車、電気自動車に求められる軽量化部材、熱マネジメント部材について更に開発を加速させるべく、両者で引き続き以下のテーマでの共同研究を継続してまいります。

1. カーボンナノチューブ(CNT)/ポリマー複合機能化に関する研究
2. 高熱伝導性高分子複合材料の創製と成形加工

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]
国立大学法人山形大学 東京サテライト
TEL 03-5440-9071
三菱化学株式会社 広報・IR 室
TEL 03-6414-3730